Printed in China　WM62720

保証書別添付

YAMAHA

J

スピーカーシステム
NX-A02 取扱説明書

このたびはヤマハ製品をお買い上げいただきありがとうございます。

はじめに

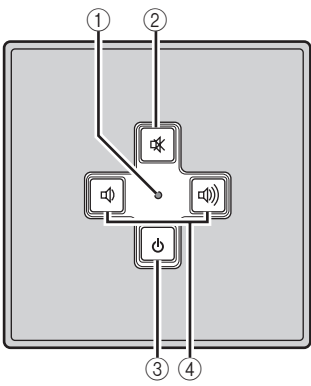
◆ **本格的なステレオサウンド**
高品質のアンプ、振動板、そしてヤマハ独自の SR-Bass 方式により高音質を実現しました。

◆ **PowerStorage™ 回路（最大 20 W）**
ヤマハ独自の技術によって最大瞬間出力 20 W を実現しました。

■ 付属品を確認する

AC アダプター（DC 12 V、1 A）
.... MU12-2120100-A1 × 1
3.5 mm ステレオミニプラグケーブル（0.5 m）
.... 1

SR·Bass
「Swing Radiator Bass™」はヤマハ株式会社の登録商標です。
PowerStorage™
「PowerStorage™」はヤマハ株式会社の登録商標です。

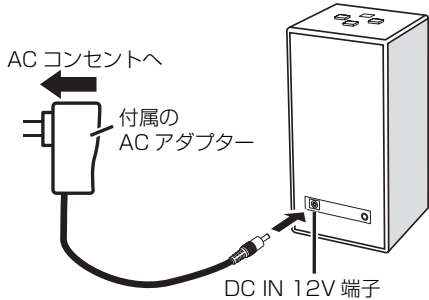
各部の名称とはたらき

① **ステータスインジケーター**
本機の状態を LED によって示します。詳しくは右コラムの「ステータスインジケーターについて」をご覧ください。

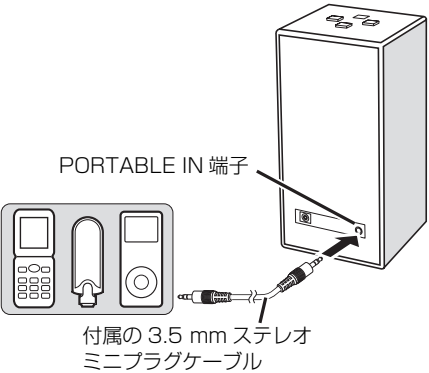
② **🔇（ミュート）ボタン**
一時的に音を消したいときに押します。ミュートを解除するときは、🔇を再び押すか、🔉/🔊を押します。ミュート時はステータスインジケーターが点滅します。

③ **⏻（電源）ボタン**
本機の電源を入れます。再度押すと、電源が切れます。本機の電源が入ると、ステータスインジケーターが点灯します。

④ **🔉/🔊（ボリューム）ボタン**
音量を調節します。🔊を押すと音量が上がり、🔉を押すと音量が下がります。

接続する

電源

1 付属のACアダプターを本機背面のDC IN 12V 端子に接続します。
2 ACアダプターを AC コンセントに接続します。

音声入力

接続したいオーディオプレーヤーと本機の PORTABLE IN 端子を、付属の 3.5 mm ステレオミニプラグケーブルを使って接続します。

ご注意
接続する前に、本機の電源が切れていることを確認してください。

再生する

1 ⏻ボタンを押して本機の電源を入れます。
ステータスインジケーターが点灯します。
2 オーディオプレーヤーの再生を開始します。
3 🔉/🔊ボタンを押して音量を調節します。

💡
• 本機はステレオスピーカーです。左右のチャンネルをちょうどよいバランスで楽しむには、ヤマハロゴが聴く位置に向くように置いてください。
• 本機を使わないときは、電力の消費を押さえるために⏻ボタンを押して電源を切ってください。

■ 再生が終わったら

1 オーディオプレーヤーの再生を終了します。
2 ⏻ボタンを押して電源を切ります。
ステータスインジケーターが消灯します。

■ ステータスインジケーターについて

ステータスインジケーターの状態	本機の状態
点灯	本機の電源が入っています。
点滅	本機はミュート状態です。
1 度だけ点滅する	本機の音量が最大、または最小です。
消灯	本機の電源が切れている、または電源が接続されていません。

トラブルシューティング

下記以外の症状が起きた場合は、本機の電源を切り、AC アダプターを外してお買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響サービス拠点にお問い合わせください。

症状	原因	対処
音が出ない。	本機と相手機器が正しく接続されていない。	正しく接続してください。
	音量が最小になっている。	音量を上げてください。
	本機がミュートされている。	ミュートを解除してください。
音量が不安定である。	音声の過入力が原因で、保護回路が動作している。	音量を下げてください。

仕様

スピーカー形式 .... 1 Box ステレオタイプ、Twin SR-Bass 方式、防磁型
スピーカーユニット
.... 4.5 cm 振動板フルレンジ × 2
アナログ入力端子
.... 3.5 mm ステレオミニ端子
入力感度／インピーダンス
.... 200 mV/20 kΩ
最大信号入力
　アナログ入力 .... 2.0 V
ダイナミックパワー
.... 6 W × 2（1 kHz、6 Ω）
瞬間パワー *
..... 10 W × 2（1 kHz、6 Ω、10% THD）
再生周波数帯域 .... 90 Hz ～ 20 kHz
電源入力
　AC アダプター .....AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 8 W
使用温度範囲............................+5 ℃ ～ 35 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）
......................................84 × 170 × 84 mm
重量 ....600 g

*100 ミリ秒の間連続して出力できるパワーを表します。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ
お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。
http://www.yamaha.co.jp/audio/

■ AVお客様ご相談センター
ナビダイヤル（全国共通） 0570-01-1808
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-3409
FAX（053）460-3459
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター
ナビダイヤル（全国共通） 0570-01-2808
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-4830
FAX（053）463-1127
受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00　土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口
受 付 日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109
首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125
浜松 〒435-0016 浜松市東区和田町200
ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053)462-9244
名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043
大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535
九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● **保証期間**
お買い上げ日から1年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**
技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか？
● 電源コード・プラグが異常に熱い。
● コゲくさい臭いがする。
● 電源コードに深いキズか変形がある。
● 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
● 電源を入れても正常に作動しない。
● その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、保証書と共に使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

⚠ 警告　この表示の欄は、「死亡する可能性または重症を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- 異常なにおいや音がする。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない。
- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行

表示された電源電圧（100 V）で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行

電源スイッチをオフにしても、本機はまだ完全には主電源から遮断されていません。本機を完全に主電源から切り離すためには、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

設置

水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。
- 浴室・台所・海岸・水辺
- 雨や雪、水がかかるところ
- 加湿器を過度にきかせた部屋

水の混入により、火災や感電の原因になります。

禁止

放熱のため、本機を設置する際には:
- 布やテーブルクロスをかけない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

禁止

あおむけや横倒しには設置しない。
故障やけがの原因となります。

分解禁止

分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理および調整は販売店にご依頼ください。

使用上の注意

接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

必ず実行

本機を落としたり、本機が破損したりした場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
- 水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。

手入れ

必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的に取り除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグや金属部がショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意　この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

必ず実行

電源プラグは、コンセントの根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

必ず実行

ACアダプターを使用するときは、付属のアダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

禁止

ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。

設置

禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止

直射日光の当たる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばや車内など）には設置しない。
外装の変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。

移動

プラグを抜く

移動するときは、本機（または接続機器）の電源スイッチを切り、すべての接続コードを外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意

必ず実行

再生を始める前に、音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときは、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、本体の電源を切り、説明に従って接続してください。

注意

側面から音が出るため、側面をふさがないでください。

注意

側面の近くにブラウン管を置かないでください。
色むらが起きることがあります。

手入れ

必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

テレビの近くでご使用になり、万一色ムラや雑音などが生じるときは、本機をテレビから離してご使用ください。

お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハ株式会社